

報道関係各位

武蔵野美術大学と大分県日出町が、 地域資源の活用に関する産官学プロジェクトを実施



武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：長澤忠徳 以下、本学）と大分県日出町（町長：本田博文）は、地域資源の活用に関する産官学プロジェクトを実施しました。

産官学プロジェクト概要

大分県日出町は、かつて九州と関西の交易港として栄えた街で、城下町の歴史ある風景と豊かな農林水産資源に恵まれた港町です。近年、一次産業が衰退している中で、循環型社会のこれからに向けて、地元の産業従事者と産官学共同で、地域の美しい風景、暮らし、一次産業、生業の再生と可視化をテーマに考えるプロジェクトを実施しました。

本学造形構想学部クリエイティブイノベーション学科（CI 学科）および大学院造形構想研究科造形構想専攻クリエイティブリーダーシップコース（CL コース）の学生が大分県日出町で暮らしながら、本学流通のデザイン、生産から消費への物語の共有、メディアづくり等デザインの関与によって、地域の価値を再生するため、フィールドリサーチを通じた企画、提案を行いました。

【本学学生が実践する社会課題解決】

CI 学科および CL コースは、美術・デザインを学ぶことで身につく力、創造的思考力を持って、社会の中で実践的に学ぶことを目的として、2019年に開設いたしました。

2019年入学のCI 学科1期生は、2年間本学鷹の台キャンパスで美術・デザインの基礎、フィールドリサーチ、イノベーションに関する歴史的背景を学び、2021年度より学科と同時開設した市ヶ谷キャンパスで、提携企業・自治体と社会課題解決型プロジェクトを共創していきます。

本プロジェクトを含め、企業や自治体等と連携し、持続可能な未来社会について、様々な分野の専門家と対話しながら、実社会における様々な問題に取り組んでいます。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス事務室 担当：武藤・鈴木

03-5206-5311（電話）／03-5261-3700（FAX）／rcsc_staff@musabi.ac.jp